

## 脇之沢漁港施設設計業務特記仕様書

### 1. 適用範囲

この仕様書は、脇之沢漁港施設基本・実施設計業務に必要な事項を定めるものであり、この仕様書に記載のない定めについては、標準として「漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書」（水産庁漁港漁場整備部）及び「設計業務等共通仕様書」、「測量業務共通仕様書」、「地質調査共通仕様書」（岩手県県土整備部）の最新図書によって処理するものとする。

### 2. 業務概要

農山漁村地域整備交付金事業（漁村再生交付金事業）により計画している脇之沢漁港の－2m物揚場、用地護岸、臨港道路について、工事の実施に向け、基本設計、実施設計、土質調査及び解析等調査を行うものである。

### 3. 目的

脇之沢漁港の－2m物揚場、用地護岸、臨港道路の施工に必要な図面及び数量計算書等を作成することを目的とする。

### 4. 業務委託する施設所在地

陸前高田市米崎町字脇の沢地先ほか

### 5. 業務委託内容の特記仕様

#### （1）基本設計業務

標準断面図面及び設計計算等、工事の実施に必要な構造物の基本設計図を作成することとし、次の項目について検討を行うものとする。

##### 1) 設計計画

業務の目的、内容を把握し、業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。

##### 2) 設計条件

構造物の構造、断面、安定性検討に必要な諸条件の整理を行う。

##### 3) 基礎の検討

構造物の安定性を考慮した、基礎形状の検討及び選定を行う。

##### 4) 設計計算

構造物の要求性能を満たし、かつ安定性を考慮した構造物の設計計算を行う。

##### 5) 基本断面算定

上記設計計算にて算出した構造物案に対し、経済性比較を行い採用断面を選定するとともに、断面協議に必要な資料の作成を行うものとする。

##### 6) 図面作成

基本的な標準断面図等を作成する。

##### 7) 協議・報告

設計に疑義が生じた場合は速やかに調査職員に報告し協議すること。

## 8) 照査

項目毎に基本的方針、手法、判断等に誤りが無いか照査すること。

### (2) 実施設計業務

詳細な図面及び数量計算等、工事の発注に必要な構造物の設計図を作成することとし、次の項目について検討を行うものとする。

#### 1) 図面作成

標準断面に基づき、工事に必要な設計図の作成を行う。設計図面はCADで作成し、大きさ、縮尺等は、工事発注の際そのまま使用できるよう配慮する。

#### 2) 数量計算

図面作成の後を受けて、工事並びに積算に必要な数量計算を行うものである。施工上留意する事項があるときは、その仕様を明記すること。

#### 3) 協議・報告

設計に疑義が生じた場合は速やかに調査職員に報告し協議すること。

#### 4) 照査

項目毎に基本的方針、手法、判断等に誤りが無いか照査すること

### (3) 地質調査業務

構造物の設計に必要な地盤の構成、並びに土質の総括的な性状等、地盤の情報を把握するために実施する。

#### 1) 調査範囲

別添位置図による。

なお、別添位置図に示すボーリング位置は実施時、発注者と協議の上決定するものとする。

#### 2) 調査項目

土質ボーリング（海上ボーリング：1箇所）

標準貫入試験

室内土質試験（土粒子の密度試験・土の含水比試験・土粒子の粒度試験（フルイ））

報告書作成

既存資料の収集・現地調査

資料とりまとめ

断面図の作成

総合解析とりまとめ

## 6. 成果品

(1) 報告書（ファイル製本） A4版 1部

(2) 報告書の原稿及び設計図面の原図1式（電子媒体による。）

## 7. 委託期間

本業務の委託期間は、令和8年2月16日までとする。

## 8. その他

本特記仕様書及び設計図書に記載なき事項に疑義が生じた場合は、調査職員と協議し決定するものである。